

⑰食事摂取

「ICU」では「介助なし」が3,190名（67.3%）、「ハイケア」では10,463名（68.3%）、「一般ケア」では、17,000名（84.8%）であった。全介助の割合は、「ICU」と「ハイケア」は、全患者の2割程度でほぼ同じであった。

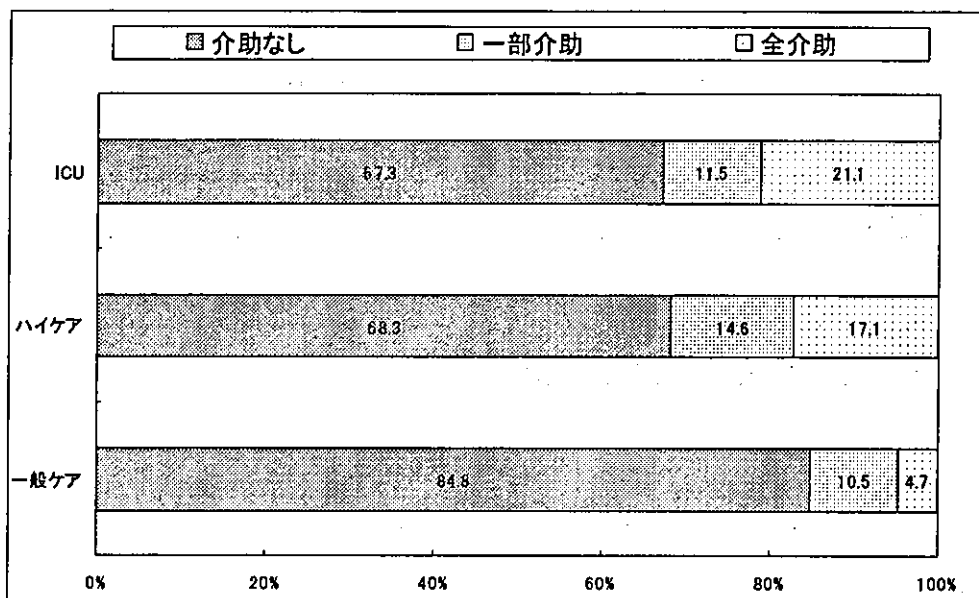


図 VI-39 食事摂取 (27 病院)

一方3国立大学病委員では「ICU」では「介助なし」が327名（82.0%）、「ハイケア」では2,558名（89.6%）、「一般ケア」では、2,254名（90.3%）であった。

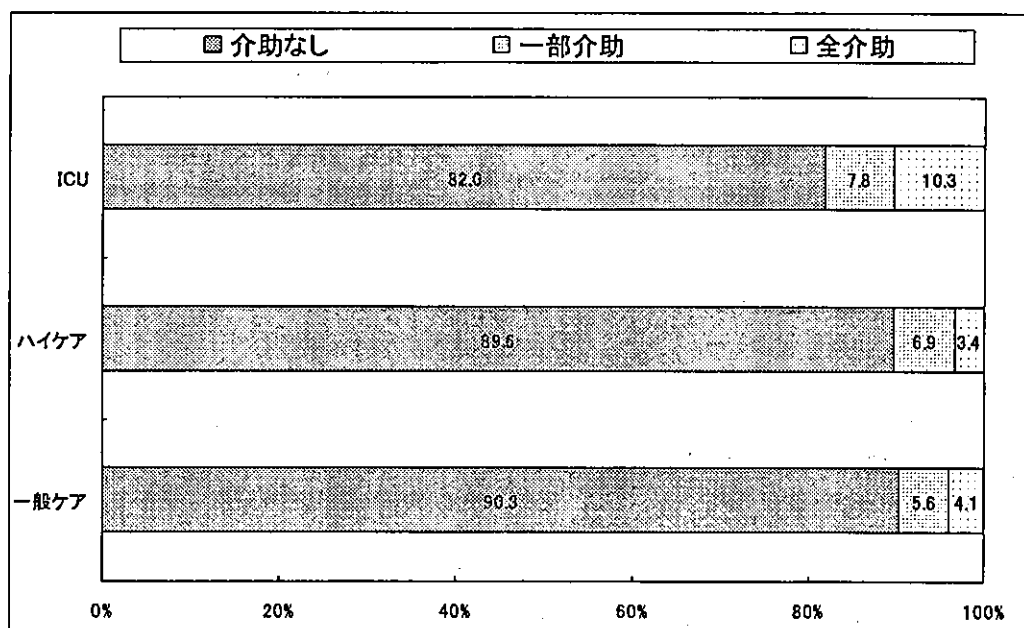


図 VI-40 食事摂取 (3 国立大学病院)

⑱ズボン・パンツの着脱

「ICU」では「介助なし」が2,615名(55.2%)、「ハイケア」では8,385名(54.8%)、「一般ケア」では、15,320名(76.4%)であった。「ICU」と「ハイケア」では、ほぼ同じで半数が介助なしであった。

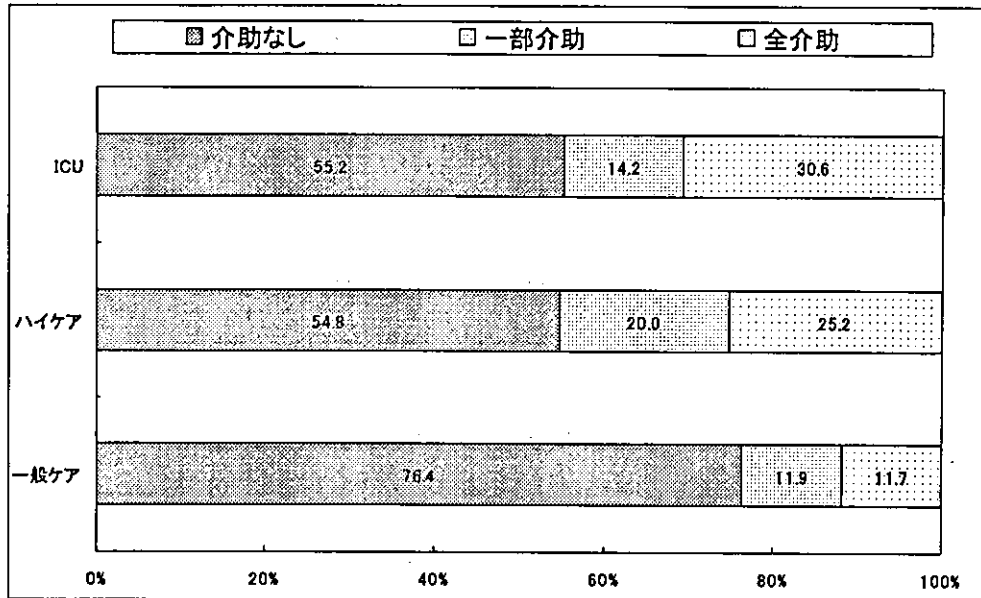


図 VI-41 ズボン・パンツの着脱 (27病院)

一方、3国立大学病院では「ICU」では「介助なし」が342名(85.7%)、「ハイケア」では2,462名(86.3%)、「一般ケア」では、2,252名(90.2%)であった。

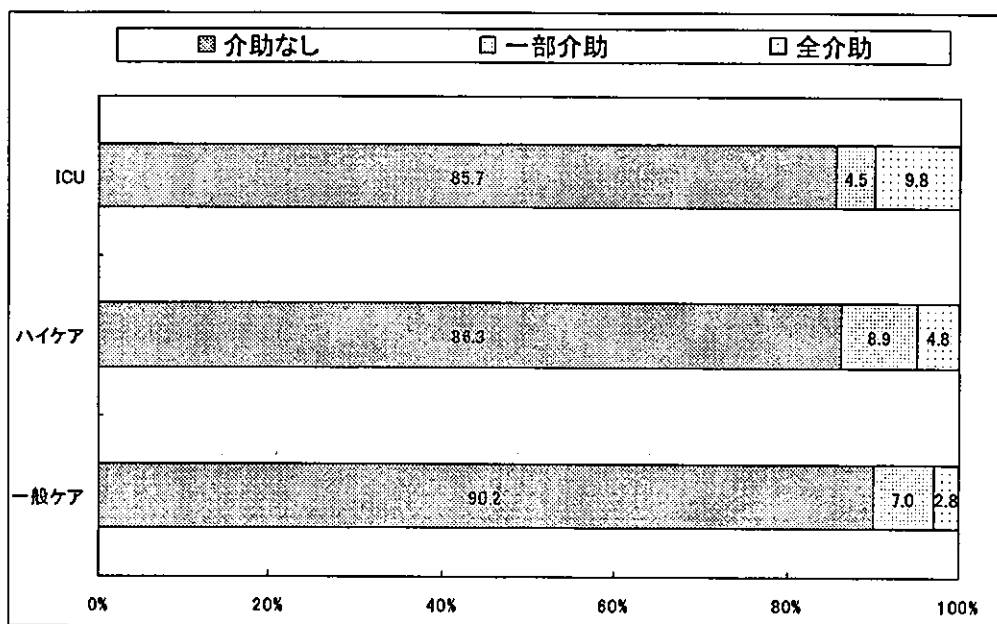


図 VI-42 ズボン・パンツの着脱 (3国立大学病院)

⑨他者への意思の伝達

「ICU」では、「できる」が2,468名(52.1%)、「ハイケア」では、10,708名(70.0%)、「一般ケア」では、17,839名(89.0%)であった。また、他者への意思伝達ができない患者の割合をみると「一般ケア」を1とすると、「ハイケア」では約4倍、「ICU」では、約9.4倍ができないと回答されていた。

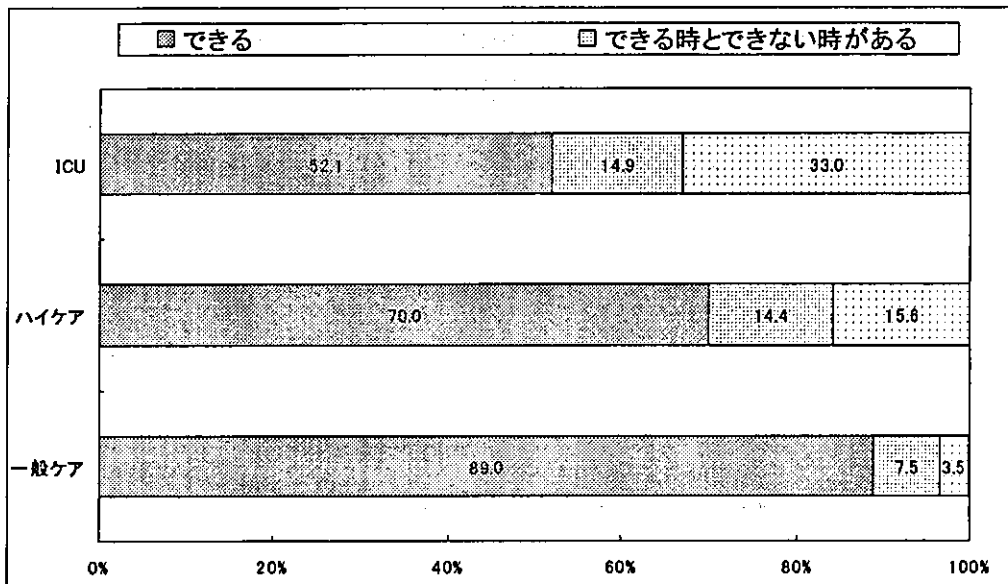


図 VI-43 他者への意思の伝達 (27 病院)

一方3 国立大学病院では「ICU」では、「できる」が203名(50.9%)、「ハイケア」では、2,625名(92.0%)、「一般ケア」では、2,448名(98.0%)であった。

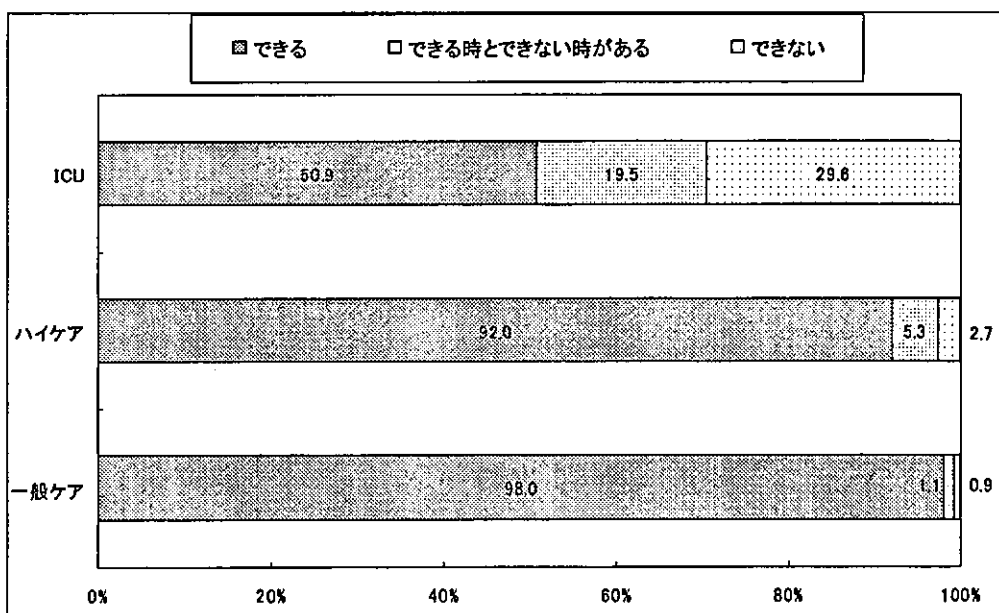


図 VI-44 他者への意志の伝達 (3 国立大学病院)

⑳指示が通じる

「ICU」では、「はい」が2,692名(56.8%)、「ハイケア」では、11,195名(73.1%)、「一般ケア」では、18,201名(90.8%)で、「一般ケア」では、ほとんどの患者に指示が通じていた。

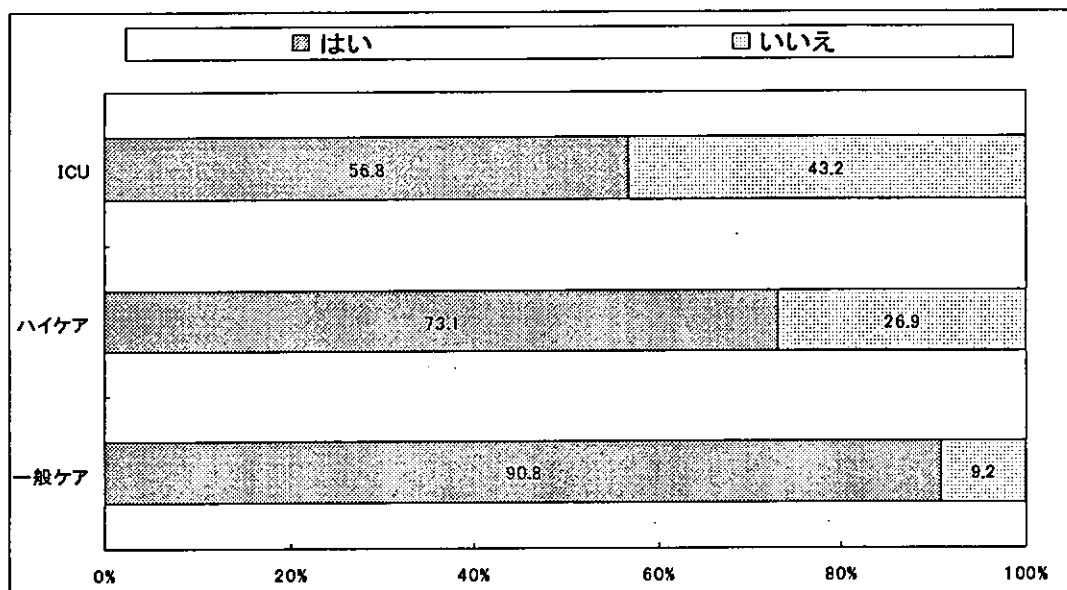


図 VI-45 指示が通じる (27病院)

一方、3 国立大学病院では「ICU」では、「はい」が251名(62.9%)、「ハイケア」では、2,647名(92.7%)、「一般ケア」では、2,440名(97.7%)で、「一般ケア」では、ほとんどの患者に指示が通じていた。

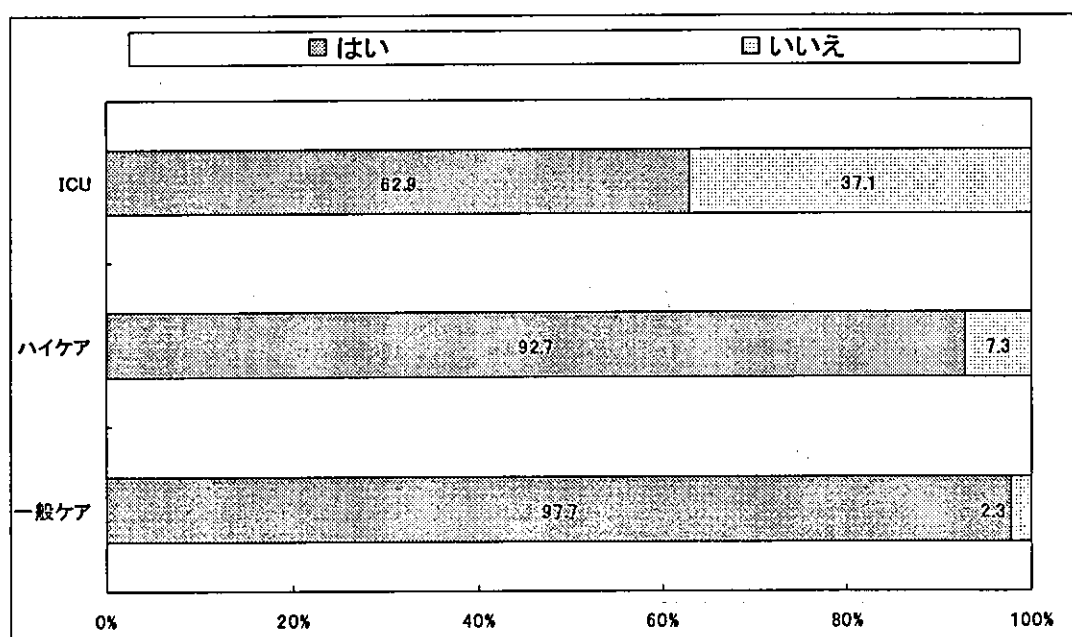


図 VI-46 指示が通じる (3 国立大学病院)

④危険行動

「ICU」では「ある」が1,509名(31.9%)、「ハイケア」では、3,893名(25.4%)、「一般ケア」では、2,632名(13.1%)であった。

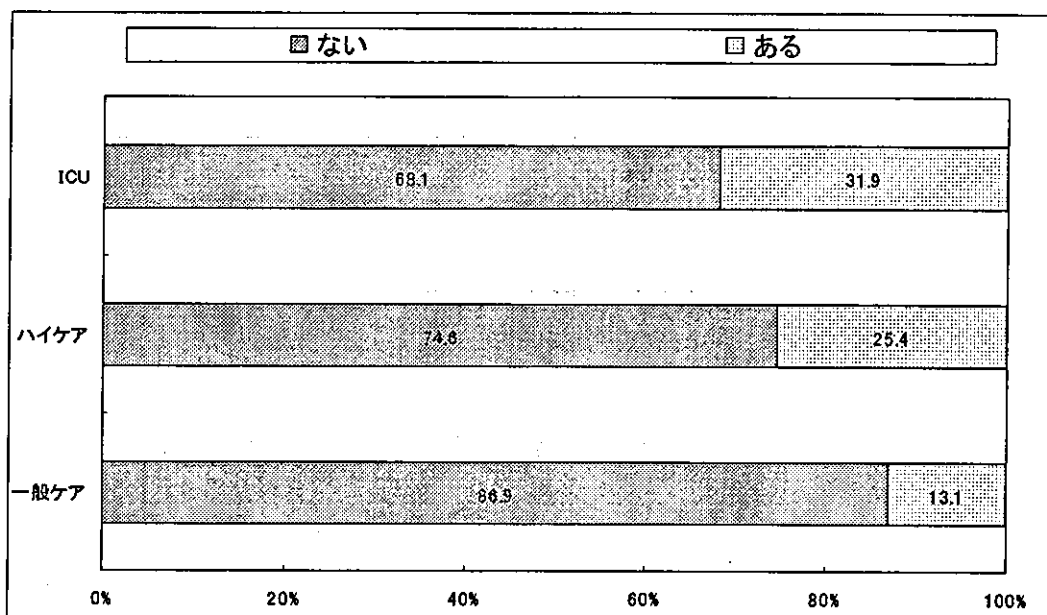


図 VI-47 危険行動 (27 病院)

一方、3 国立大学病院では「ICU」では「ある」が 311 名 (77.0%)、「ハイケア」では、2,404 名 (84.2%)、「一般ケア」では、2,114 名 (84.7%) であった。

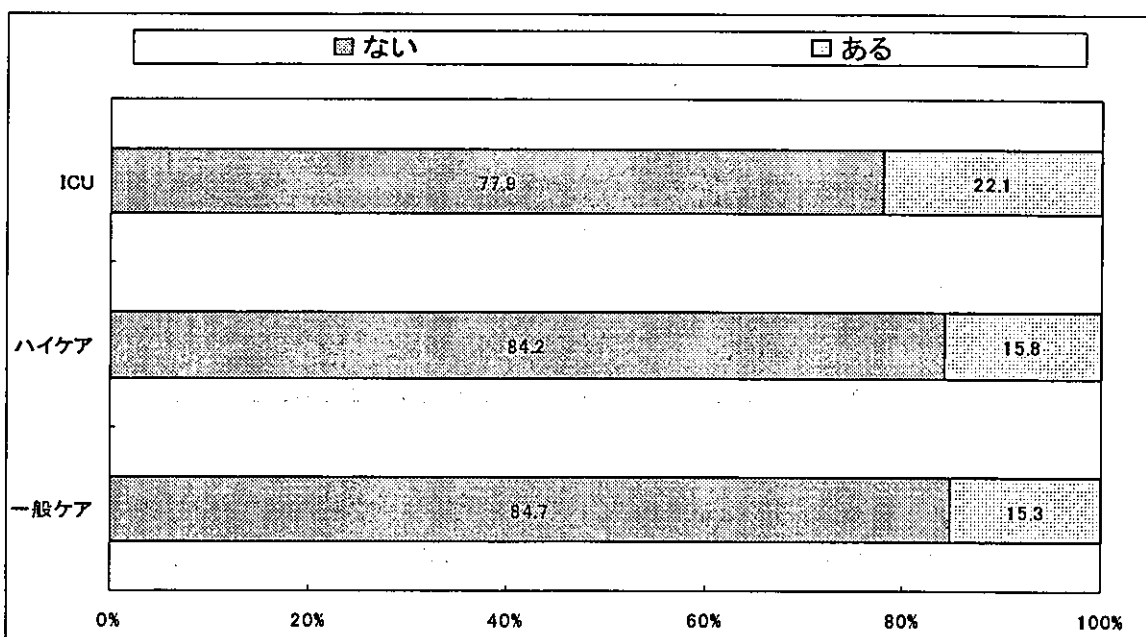


図 VI-48 危険行動 (3 国立大学病院)

(2) 3病棟別「処置」の有無の回答傾向

①心電図モニター

「ICU」では「ある」が4,693名(99.1%)、「ハイケア」では、5,381名(35.2%)、「一般ケア」では、2,400名(12.0%)であった。「ICU」では、ほとんどの患者は、「心電図モニター」をつけていた。「ハイケア」も3割以上の患者がつけており、これは、一般ケアの3倍にあたる。

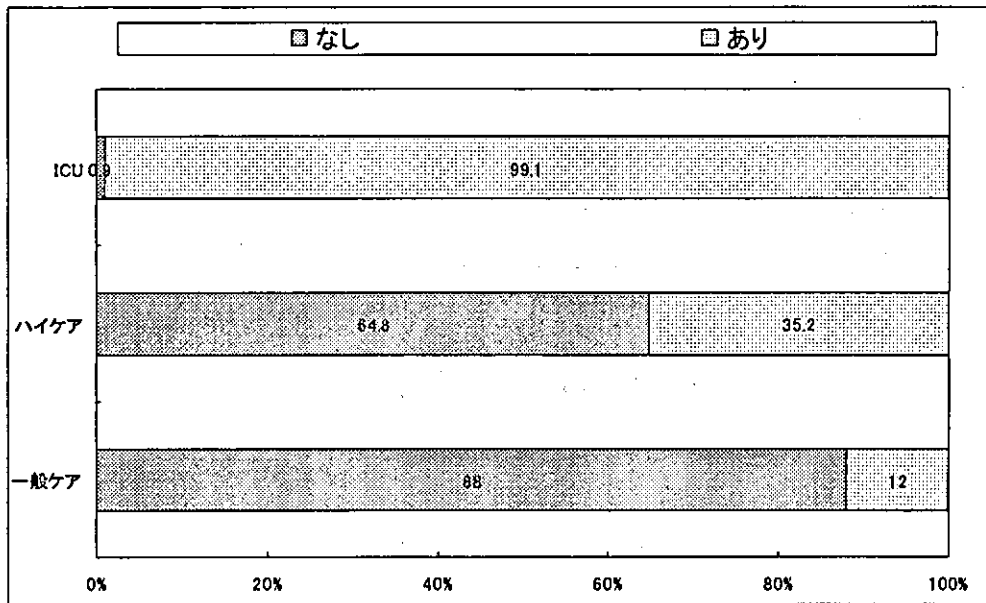


図 VI-49 心電図モニター (27 病院)

一方、3 国立大学では「ICU」では「ある」が 399 名(100.0%)、「ハイケア」では、2,354 名(17.5%)、「一般ケア」では、2,465 名(1.3%)であった。

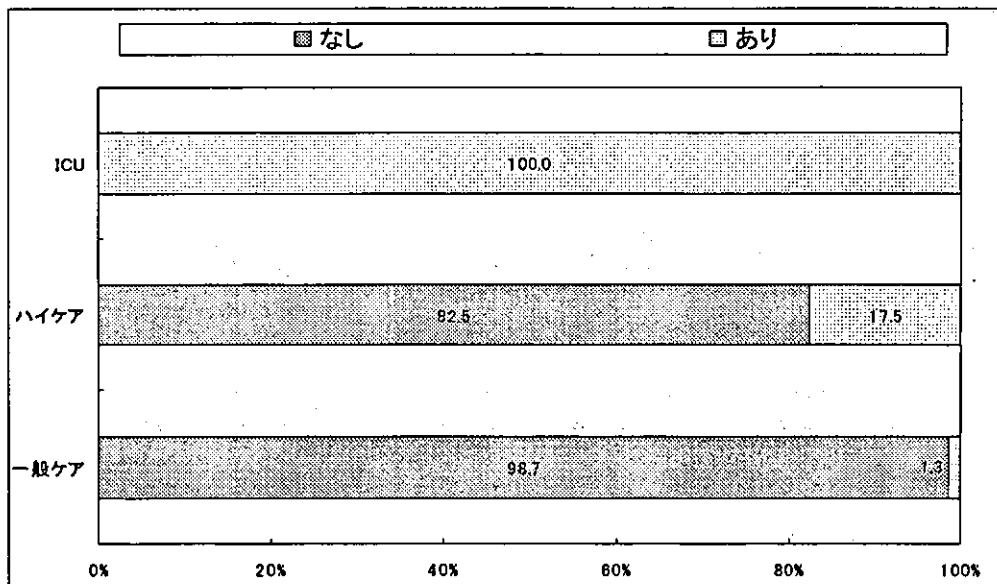


図 VI-50 心電図モニター (3 国立大学病院)

②輸液ポンプの使用

「ICU」では「ある」が3,789名(80.0%)、「ハイケア」では、3,475名(22.7%)、「一般ケア」では、1,247名(6.2%)であった。「一般ケア」では、輸液ポンプをつけている患者の割合は、かなり低かったが、「ハイケア」では、2割程度と示され、一定の患者がつけていることが示された。

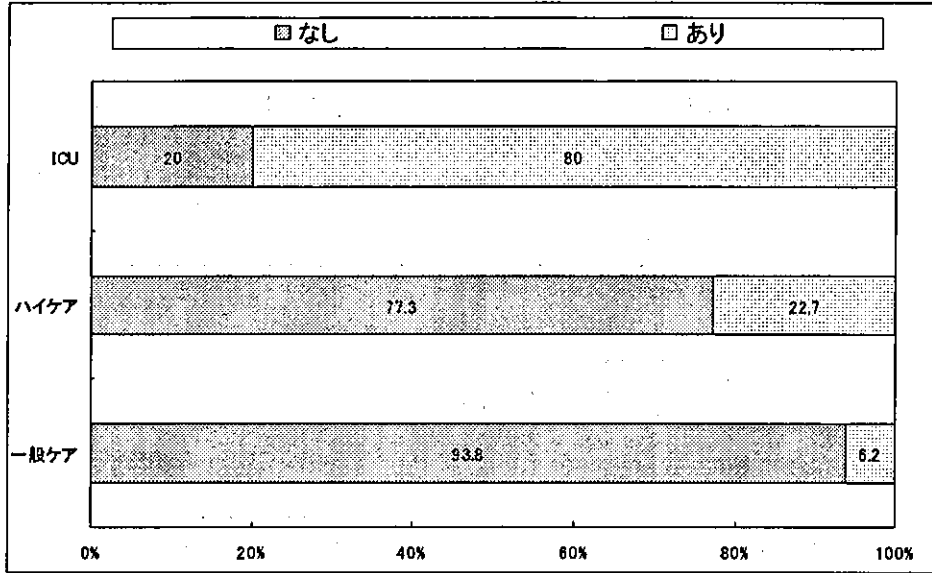


図 VI-51 輸液ポンプの使用 (27 病院)

一方3 国立大学では「ICU」では「ある」が399名(100.0%)、「ハイケア」では、316名(11.1%)、「一般ケア」では、185名(7.4%)であった。

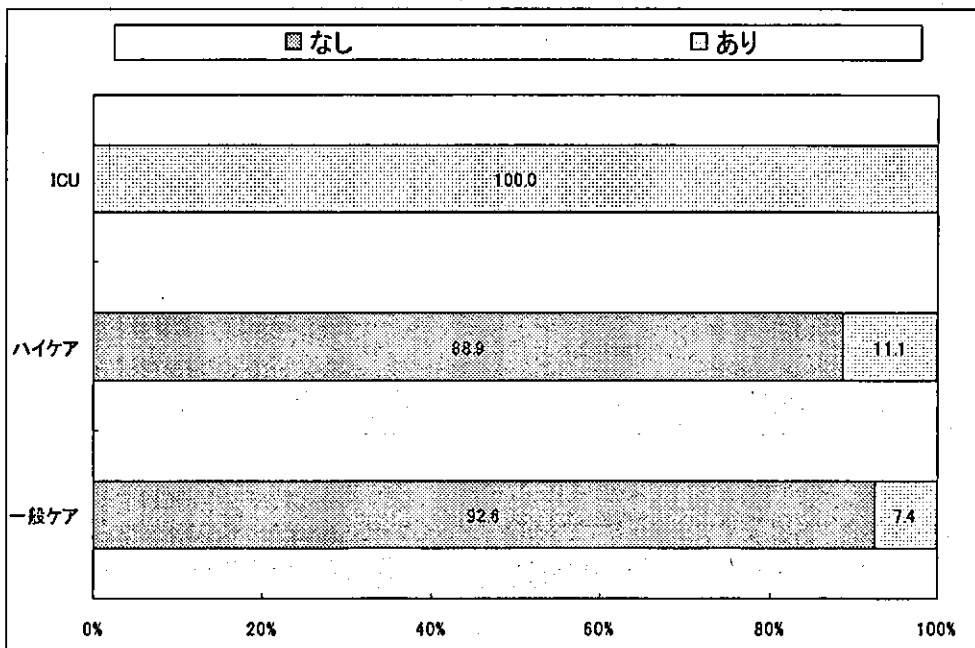


図 VI-52 輸液ポンプの使用 (3 国立大学病院)

③動脈圧測定

「ICU」では「ある」が2,720名(57.4%)、「ハイケア」では672名(4.4%)、「一般ケア」では、43名(0.2%)であった。「ハイケア」、「一般ケア」の患者ともに動脈圧測定は、ほとんど実施されていない。

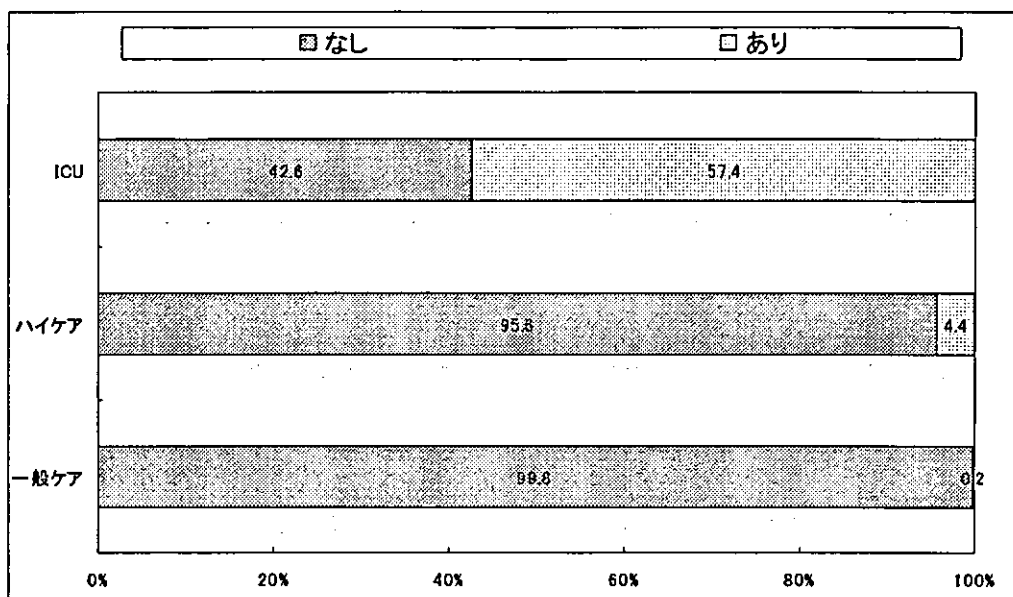


図 VI-53 動脈圧測定 (27 病院)

一方、3 国立大学では「ICU」では「ある」が379名(95.0%)、「ハイケア」では51名(1.8%)、「一般ケア」では、1名(0.0%)であった。「ハイケア」、「一般ケア」の患者ともに動脈圧測定は、ほとんど実施されていない。

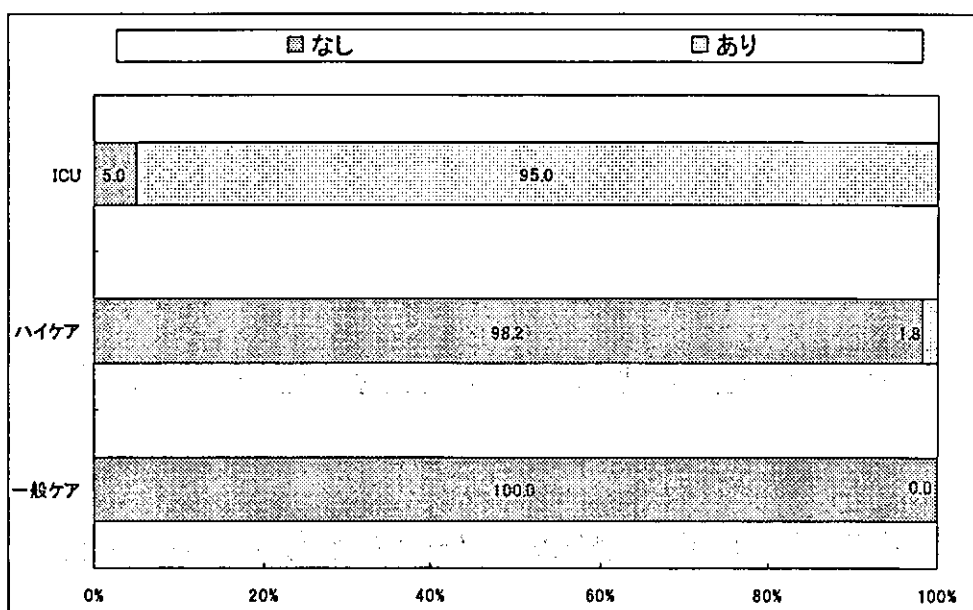


図 VI-54 動脈圧測定 (3 国立大学病院)

④シリンジポンプの使用

「ICU」では「ある」が2,837名(59.9%)、「ハイケア」では1,518名(9.9%)、「一般ケア」では、270名(1.3%)であった。「一般ケア」では、ほとんど使用されていないことがわかった。

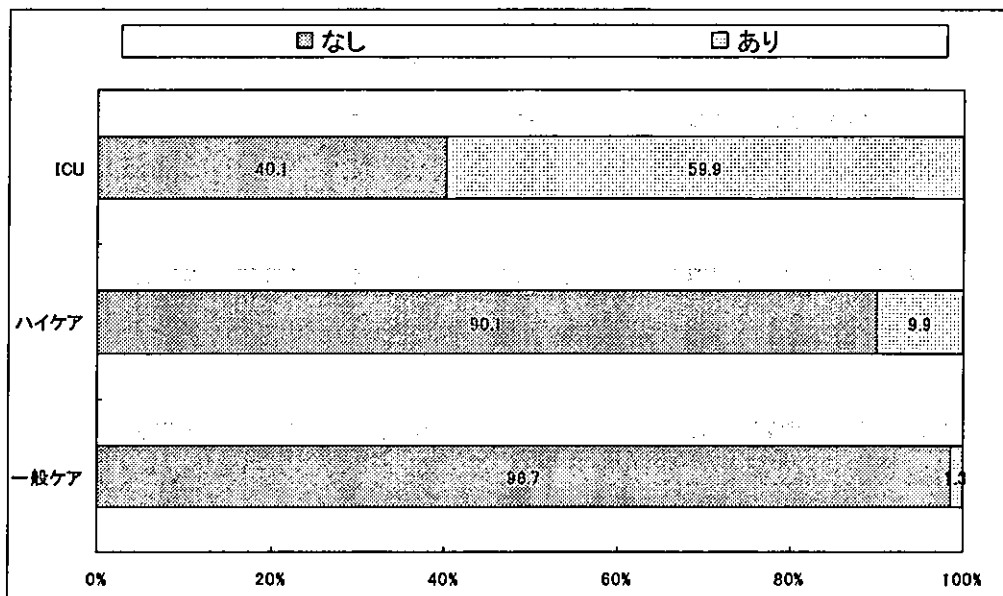


図 VI-55 シリンジポンプの使用 (27 病院)

一方、3 国立大学病院では「ICU」では「ある」が378名(94.7%)、「ハイケア」では274名(9.6%)、「一般ケア」では、18名(0.7%)であった。「一般ケア」では、ほとんど使用されていないことがわかった。

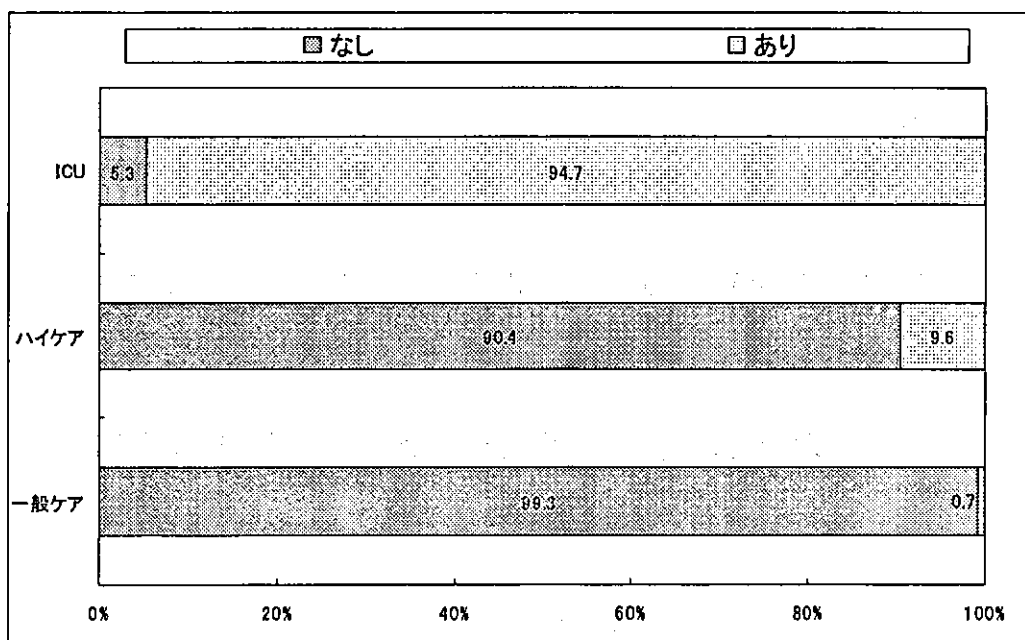


図 VI-56 シリンジポンプの使用 (3 国立大学病院)

⑤中心静脈圧測定

「ICU」では「ある」が2,432名(51.3%)、「ハイケア」では794名(5.2%)、「一般ケア」では、373名(1.9%)であった。「ハイケア」、「一般ケア」共にほとんど実施されていなかった。

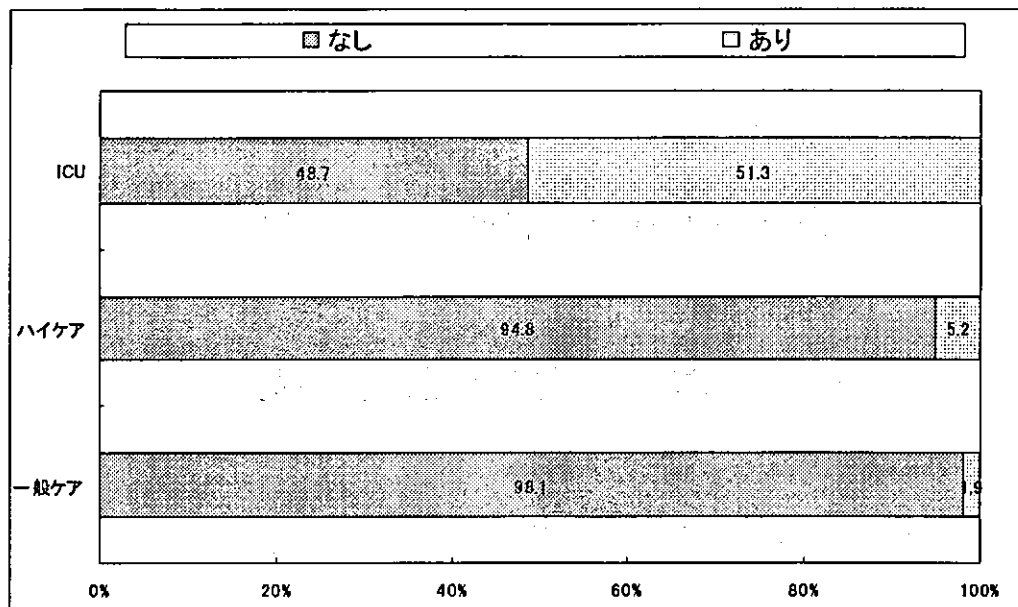


図 VI-57 中心静脈圧測定 (27 病院)

一方、3 国立大学病院では「ICU」では「ある」が351名(88.0%)、「ハイケア」では116名(4.1%)、「一般ケア」では、1名(10.0%)であった。「ハイケア」、「一般ケア」共にほとんど実施されていなかった。

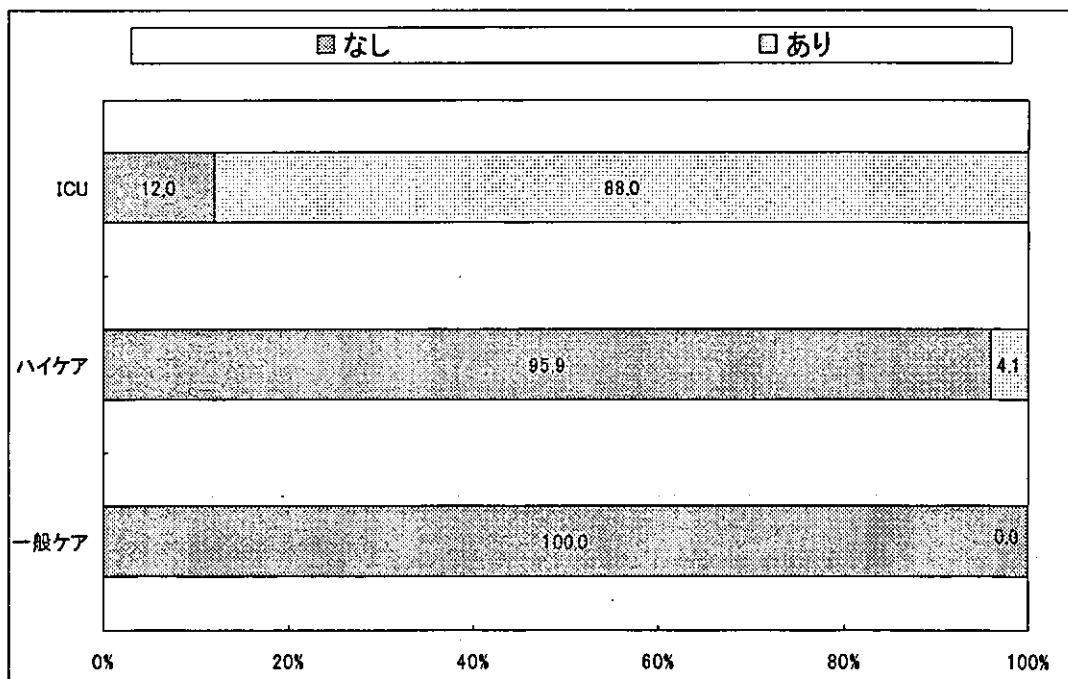


図 VI-58 中心静脈圧測定 (3 国立大学病院)

⑥人工呼吸器の装着

「ICU」では「ある」が1,701名(35.9%)、「ハイケア」では947名(5.2%)、「一般ケア」では、55名(0.3%)であった。「ハイケア」、「一般ケア」共に、ほとんどの患者に人工呼吸器は装着されていない。

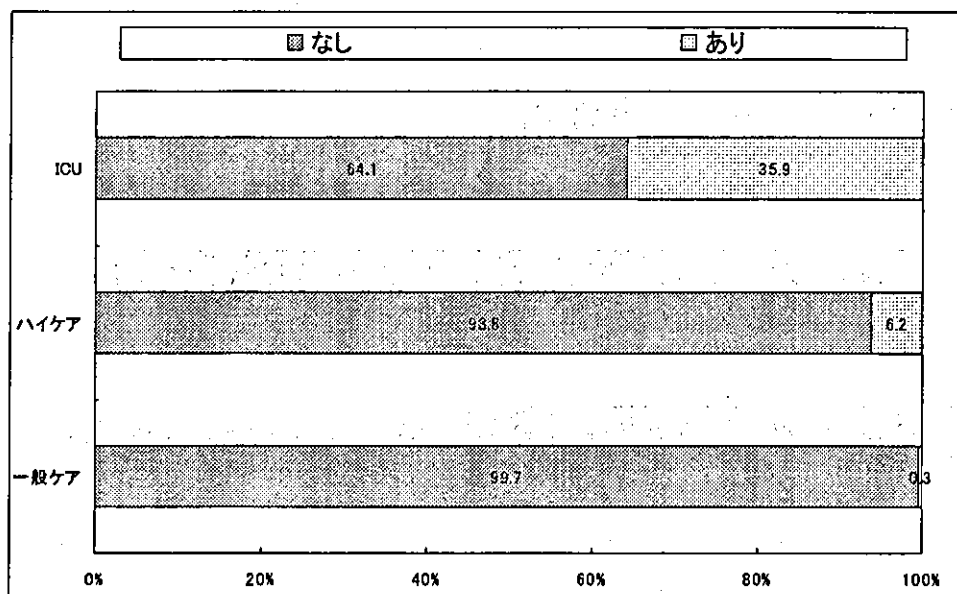


図 VI-59 人工呼吸器の装着 (27 病院)

一方、3 国立大学病院「ICU」では「ある」が233名(35.9%)、「ハイケア」では36名(5.2%)、「一般ケア」では、0名(0.0%)であった。「ハイケア」、「一般ケア」共に、ほとんどの患者に人工呼吸器は装着されていない。

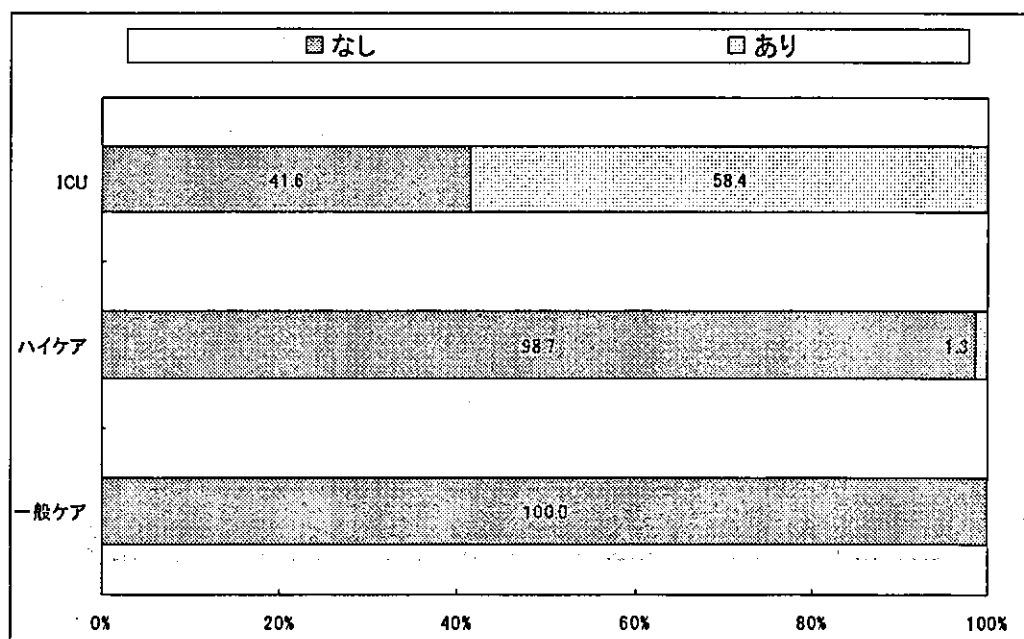


図 VI-60 人工呼吸器の装着 (3 国立大学病院)

⑦輸血又は血液製剤の使用

「ICU」では「ある」が1,174名(24.8%)、「ハイケア」では「ある」が622名(4.1%)、「一般ケア」では「ある」が265名(1.3%)であった。3病棟ともに、輸血又は血液製剤の使用は比較的低い割合であったが、「ハイケア」、「一般ケア」では、患者には、ほとんど使用されていなかった。

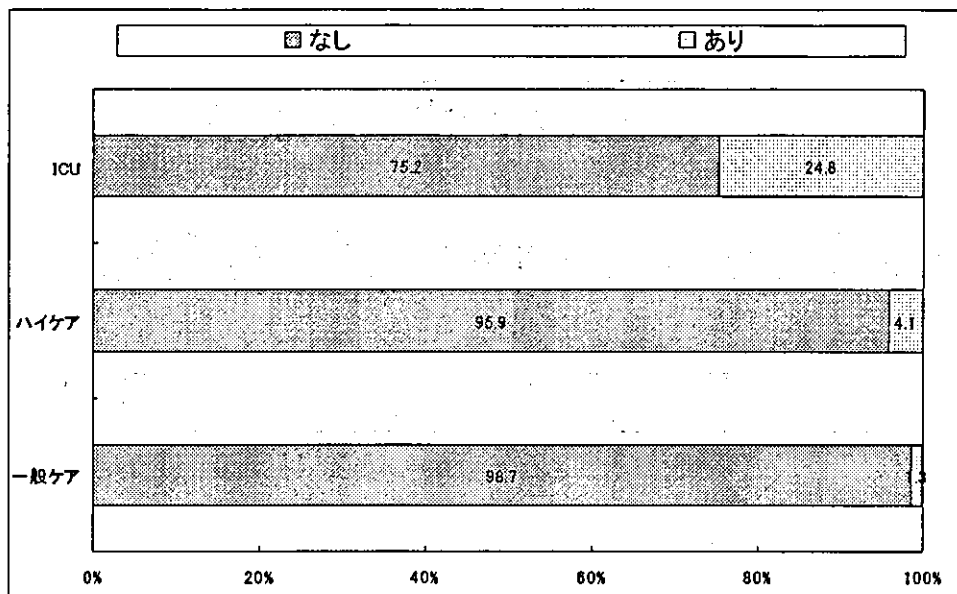


図 VI-61 輸血又は血液製剤の使用 (27 病院)

一方、3 国立大学病院では「ICU」では「ある」が169名(42.4%)、「ハイケア」では「ある」が134名(4.7%)、「一般ケア」では「ある」が13名(0.5%)であった。3病棟ともに、輸血又は血液製剤の使用は比較的低い割合であったが、「ハイケア」、「一般ケア」では、患者には、ほとんど使用されていなかった。

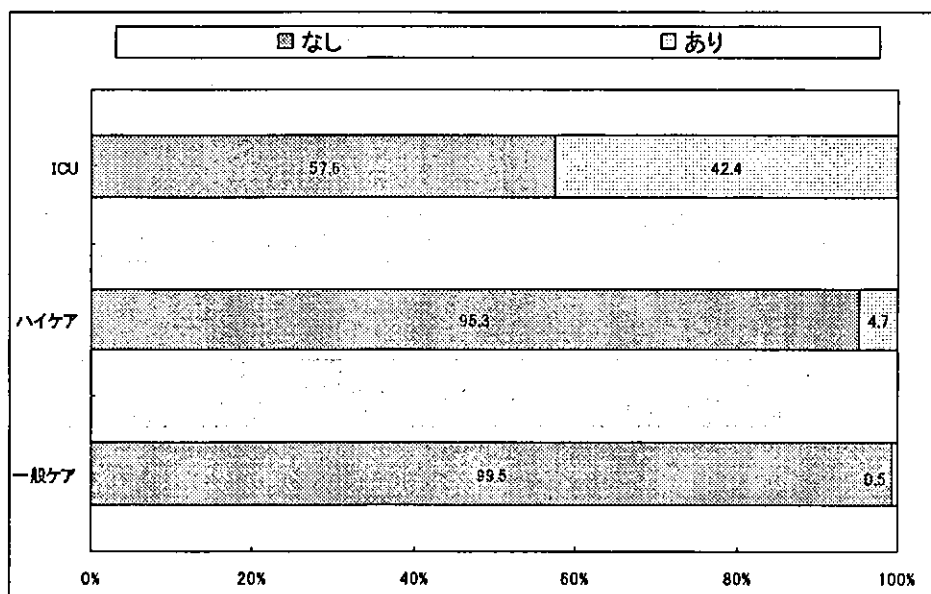


図 VI-62 輸血又は血液製剤の使用 (3 国立大学病院)

⑧肺動脈圧測定

「ICU」では「ある」が830名(17.5%)、「ハイケア」では「ある」が52名(0.3%)、「一般ケア」では「ある」が12名(0.1%)であった。ICU以外では、肺動脈圧測定は、ほとんど実施されていない。

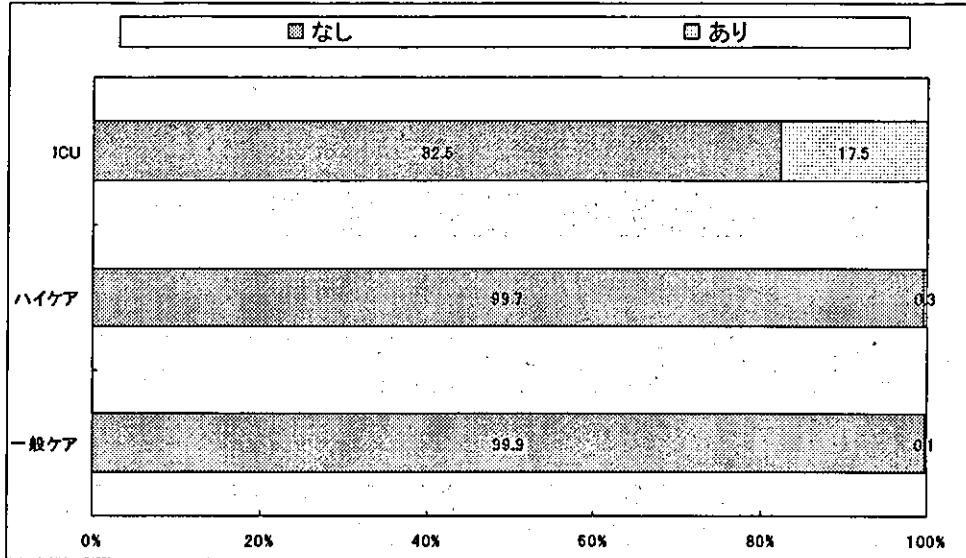


図 VI-63 肺動脈圧測定 (27 病院)

一方、3 国立大学病院では「ICU」では「ある」が74名(17.5%)、「ハイケア」では「ある」が0名、「一般ケア」では「ある」が0名であった。ICU以外では、肺動脈圧測定は、ほとんど実施されていない。

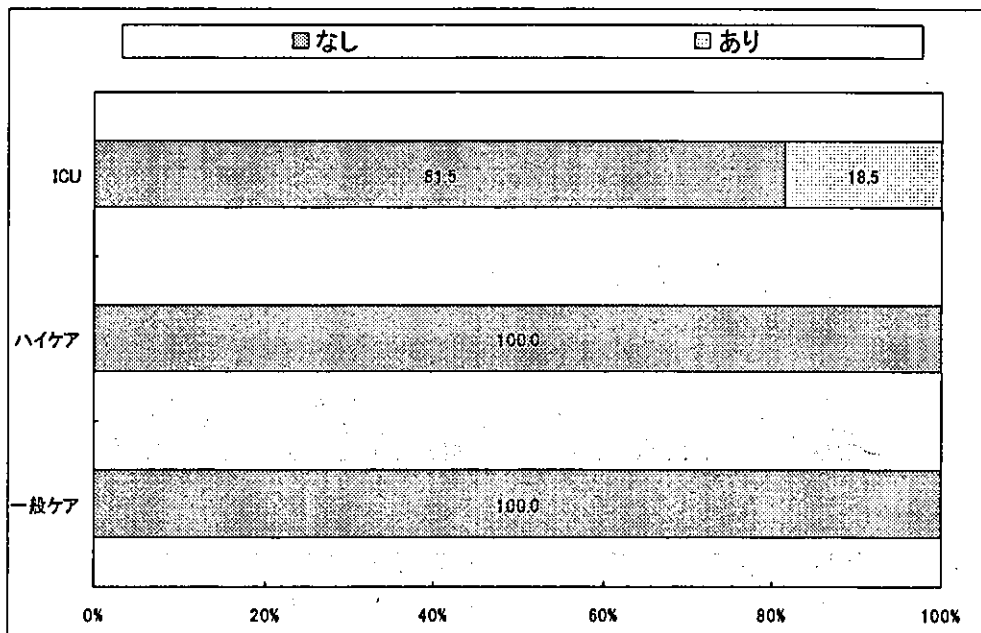


図 VI-64 肺動脈圧測定 (3 国立大学病院)

⑨特殊な治療法

「ICU」では「ある」が574名(12.1%)、「ハイケア」では116名(0.8%)、「一般ケア」では、28名(0.1%)であった。ICU以外では、特殊な治療法は、ほとんど実施されていなかった。

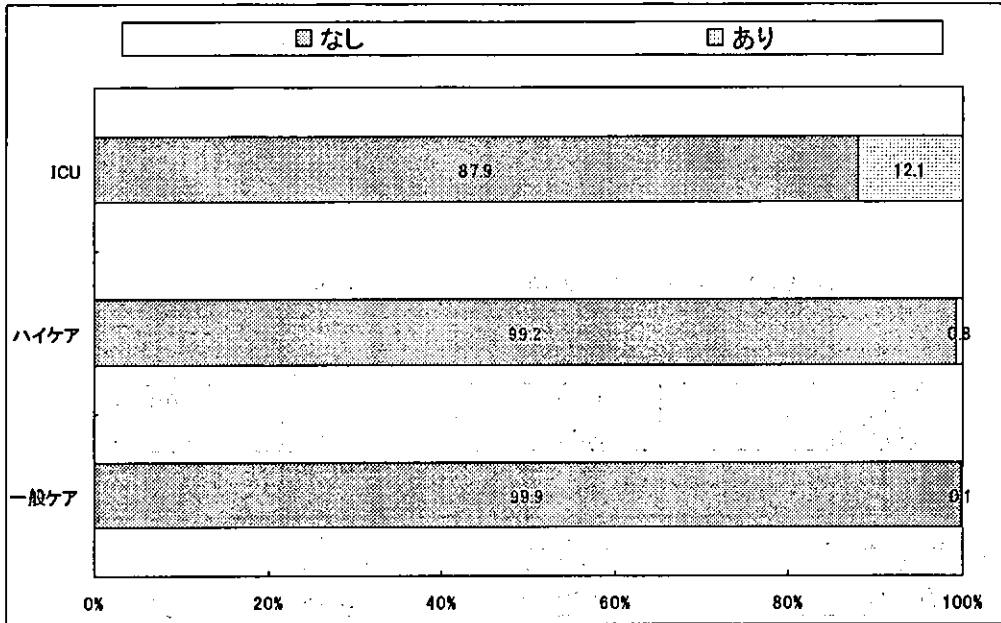


図 VI-65 特殊な治療法 (27 病院)

一方、3国立大学病院では「ICU」では「ある」が41名(10.3%)、「ハイケア」では0名、「一般ケア」では、20名(0.8%)であった。ICU以外では、特殊な治療法は、ほとんど実施されていなかった。

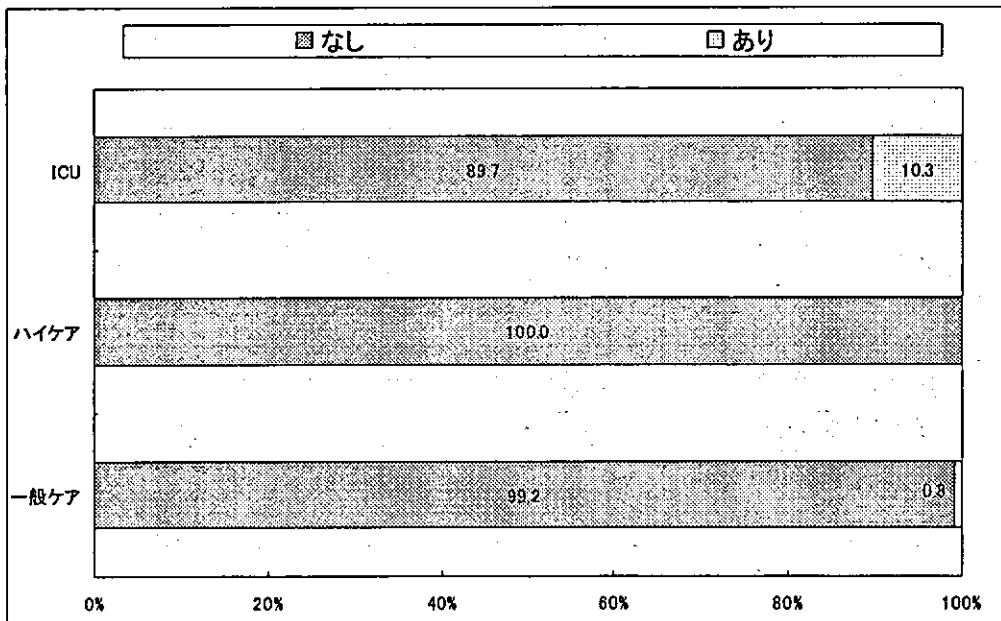


図 VI-66 特殊な治療法 (3 国立大学病院)

(3) 評価項目の回答傾向の比較

①評価項目の回答傾向（27病院）

3病棟に入院していた患者全員の状態の評価項目の回答傾向について比較した。この結果、Q1_2 退院予定、Q2_3 計画に基づいた指導、Q2_9 意思決定支援、Q3_9 ズボン・パンツの着脱、Q5_8 肺動脈圧測定については、3病棟における統計的な有意差はなかった。

しかし、これ以外の項目については、すべて有意差があったことから、病棟別の入院患者の状態は、異なっており、そのために看護師の配置にも大きな差があると考えられた。

表 VI-2 病棟間で評価項目を比較した結果

質問項目	ICU⇄ハイケア	ハイケア⇄一般ケア	ICU⇄一般ケア
Q1_1 手術	0.00 **	0.006 **	0.00 **
Q1_2 退院予定	1.00	0.00 **	0.00 **
Q1_3 床上安静の指示	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q2_2 創傷処置	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q2_3 計画に基づいた指導	0.00 **	0.10	0.02 *
Q2_4 蘇生術の施行	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q2_5 血圧測定	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q2_6 時間尿測定	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q2_7 呼吸ケア	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q2_8 点滴ライン3本以上	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q2_9 意思決定支援	0.00 **	1.00	0.00 **
Q2_10 身体的な症状の訴え	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q3_1 どちらかの手を胸元	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q3_2 寝返り	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q3_3 起き上がり	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q3_4 座位保持	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q3_5 移乗	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q3_6 移動方法	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q3_7 口腔清潔	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q3_8 食事摂取	0.03 *	0.00 **	0.00 **
Q3_9 ズボン・パンツの着脱	0.09	0.00 **	0.00 **
Q3_10 他者への意思の伝達	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q3_11 指示が通じる	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q4_1 危険行動	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q5_1 心電図モニター	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q5_2 輸液ポンプの使用	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q5_3 動脈圧測定	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q5_4 シリンジポンプの使用	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q5_5 中心静脈圧測定	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q5_6 人工呼吸器の装着	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q5_7 輸血又は血液製剤の使用	0.00 **	0.00 **	0.00 **
Q5_8 肺動脈圧測定	0.00 **	0.12	0.00 **
Q5_9 特殊な治療法	0.00 **	0.00 **	0.00 **

*P<.05 **<.01

②評価項目の回答傾向（3病院）

3病院に入院していた患者全員の状態の評価項目について、3病棟ごとの回答傾向について比較した。この結果、ICUとハイケアではq2_3計画に基づいた指導、q2_4蘇生術の施行、q2_9意思決定支援、q3_9ズボン・パンツの着脱といった項目に差が見られず、ハイケアと一般ケアの間では、q1_2退院予定、q1_3床上安静の指示、q2_3計画に基づいた指導、q2_6時間尿測定、q2_8点滴ライン3本以上、q3_5移乗、q3_9ズボン・パンツの着脱、q5_5中心静脈圧測定、q5_7輸血又は血液製剤の使用といった項目に差がみられなかった。また、ICUと一般ケアでは、q1_2退院予定、q1_3床上安静の指示、q2_6時間尿測定、q2_7呼吸ケアについては、3病棟における統計的な有意差はなかった。

しかし、これ以外の項目については、すべて有意差があったことから、3病院においても、病棟別の入院患者の状態は、異なっており、そのために看護師の配置にも大きな差があると考えられた。また、27病院の結果と比べ、ハイケアと一般ケア病棟の患者の状態が似ている項目が多いといえる。

表 VI-3 3病院において病棟間で評価項目を比較した結果

質問項目	ICU⇔ハイケア	ハイケア⇔一般ケア	ICU⇔一般ケア
q1_1 手術	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q1_2 退院予定	0.00 **	1.00	1.00
q1_3 床上安静の指示	0.00 **	0.17	0.97
q2_2 創傷処置	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q2_3 計画に基づいた指導	1.00	0.10	0.00 **
q2_4 蘇生術の施行	1.00	0.00 **	0.00 **
q2_5 血圧測定	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q2_6 時間尿測定	0.00 **	0.86	0.53
q2_7 呼吸ケア	0.00 **	0.00 **	1.00
q2_8 点滴ライン3本以上	0.00 **	0.16	0.00 **
q2_9 意思決定支援	1.00	0.00 **	0.00 **
q2_10 身体的な症状の訴え	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q3_1 どちらかの手を胸元	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q3_2 寝返り	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q3_3 起き上がり	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q3_4 座位保持	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q3_5 移乗	0.00 **	1.00	0.00 **
q3_6 移動方法	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q3_7 口腔清潔	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q3_8 食事摂取	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q3_9 ズボン・パンツの着脱	0.08	1.00	0.00 **
q3_10 他者への意思の伝達	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q3_11 指示が通じる	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q4_1 危険行動	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q5_1 心電図モニター	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q5_2 輸液ポンプの使用	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q5_3 動脈圧測定	0.00 **	0.01 *	0.00 **
q5_4 シリンジポンプの使用	0.00 **	0.00 **	0.00 **
q5_5 中心静脈圧測定	0.00 **	1.00	0.00 **
q5_6 人工呼吸器の装着	0.00 **	0.01 *	0.00 **
q5_7 輸血又は血液製剤の使用	0.00 **	1.00	0.00 **
q5_8 肺動脈圧測定	0.00 **	0.02 *	0.00 **
q5_9 特殊な治療法	0.00 **	0.00 **	0.00 **

*P<.05 **<.01

(4) 1日あたりの病棟別看護師実配置、総勤務時間、患者数など

1日あたりの病棟別看護師実配置は、27病院では、ハイケア19.3人と最も高く、次いで、ICUが18.0人、一般ケア14.0人と順に少なくなっていた。3病院についても同様にハイケアが17.6人と最も高く、次いで、ICUが16.5人、一般ケア12.6人と順に少なくなっていた

総勤務時間も同様の傾向となっている。一日平均患者数は、27病院ではICUが9.5人に対して、ハイケアが29人、一般ケアが35.5人と増加していた。3病院ではICUが7.9人に対して、ハイケアが47.1人、一般ケアが42.1人であった。

表 VI-4 1日あたりの病棟別看護師実配置、総勤務時間、患者数 (27病院)

		看護師実配置合計 (1日あたり)	勤務時間合計 (1日あたり)	患者数合計 (1日あたり)	実患者合計 (1日あたり)
病棟1(ICU)	平均値	18.0	11351.6	9.5	8.4
	標準偏差	8.4	5929.9	5.6	5.0
	最小値	5.0	3030.0	2.0	1.0
	最大値	46.0	29275.0	28.0	24.0
	中央値	17.0	10047.0	8.0	7.0
病棟2(ハイケア)	平均値	19.3	11280.9	29.0	27.0
	標準偏差	5.7	3338.5	11.7	12.0
	最小値	9.0	4500.0	4.0	3.0
	最大値	36.0	20644.0	59.0	59.0
	中央値	19.0	10775.0	29.0	26.0
病棟3(一般ケア)	平均値	14.0	8036.5	36.6	35.4
	標準偏差	4.4	2497.1	12.6	12.6
	最小値	6.0	540.0	10.0	8.0
	最大値	29.0	17888.0	76.0	70.0
	中央値	14.0	7995.0	36.0	35.0
合計	平均値	17.1	10223.0	25.0	23.6
	標準偏差	6.7	4459.5	15.5	15.4
	最小値	5.0	540.0	2.0	1.0
	最大値	46.0	29275.0	76.0	70.0
	中央値	16.0	9455.0	23.0	21.0

表 VI-5 1日あたりの病棟別看護師実配置、総勤務時間、患者数 (3病院)

		看護師実配置合計 (1日あたり)	勤務時間合計 (1日あたり)	患者数合計 (1日あたり)	実患者合計 (1日あたり)	
3病院	ICU	平均値	16.5	8721.6	7.9	6.3
		標準偏差	6.55	3548.29	3.37	2.83
		最小値	6	3080	2	1
		最大値	24	12700	15	12
		中央値	21	10785	8	7
	ハイケア	平均値	17.6	10493.7	47.1	45.3
		標準偏差	3.77	3024.27	12.73	12.62
		最小値	11	5710	27	25
		最大値	26	16050	68	67
		中央値	18	10437	47	45
	一般ケア	平均値	12.6	7489.3	42.1	39.6
		標準偏差	3.28	1798.71	7.13	7.86
		最小値	7	4050	28	20
		最大値	18	10530	54	53
		中央値	12	7735	44	39
合計	平均値	15.6	8901.5	32.3	30.4	
	標準偏差	5.19	3124.76	19.46	19.30	
	最小値	6	3080	2	1	
	最大値	26	16050	68	67	
	中央値	16	8850	34	33	

表 VI-6 各病院の1日あたりの病棟別看護師実配置、総勤務時間、患者数

			看護師実配 置合計	勤務時間 合計	患者数合 計	実患者 合計
K大学	ICU	平均値	22.4	11832.0	11.0	9.5
		標準偏差	0.98	638.87	1.80	1.12
		最小値	21	10680	8	8
		最大値	24	12700	15	12
		中央値	23	11993	11	10
	ハイケア	平均値	21.6	13767.6	62.5	60.5
		標準偏差	2.11	2130.01	2.36	3.01
		最小値	18	9960	57	56
		最大値	26	16050	68	67
		中央値	22	14700	62	60
	一般ケア	平均値	14.9	8505.2	49.0	47.0
		標準偏差	2.34	1667.58	3.25	4.79
		最小値	11	4850	43	37
		最大値	18	10530	54	53
		中央値	16	9150	49	48
N大学	ICU	平均値	19.0	10273.7	8.7	6.3
		標準偏差	3.04	1633.27	2.00	1.45
		最小値	14	7465	5	3
		最大値	22	11885	12	8
		中央値	21	11132	8	7
	ハイケア	平均値	16.0	9740.7	46.6	44.7
		標準偏差	3.29	1998.61	2.22	3.12
		最小値	11	5880	43	38
		最大値	19	11820	50	49
		中央値	18	10820	47	45
	一般ケア	平均値	12.9	7328.6	43.9	40.9
		標準偏差	3.22	1896.87	2.21	4.22
		最小値	8	4050	40	34
		最大値	16	9350	48	47
		中央値	15	8305	44	43
G大学	ICU	平均値	7.9	4059.0	4.0	3.2
		標準偏差	1.26	663.41	1.22	1.00
		最小値	6	3080	2	1
		最大値	10	4930	6	5
		中央値	8	4180	4	3
	ハイケア	平均値	15.3	7972.9	32.1	30.7
		標準偏差	2.01	1139.98	2.85	3.12
		最小値	11	5710	27	25
		最大値	17	9630	38	38
		中央値	16	8610	32	31
	一般ケア	平均値	10.1	6634.0	33.2	31.1
		標準偏差	2.30	1331.08	2.32	4.07
		最小値	7	4790	28	20
		最大値	13	8495	38	37
		中央値	11	7200	33	32

(5) 病棟別の実患者／職員数

①ICU 病棟

21 日間の期間中、ICU 病棟の 1 人あたりの看護師が受け持った患者の実人数は、平均 1.12 で、看護配置が最も高い値は、0.2 で、これは看護師 5 人で 1 人の患者を看護していた。

反対に、最も低い値は 2.25 人で、1 人の看護師で 2.25 人の患者を看護していたことになり、最も高い配置とは、10 倍の開きがあった。平均的には、1 人の看護師は、1.1 人の患者を看護していた。

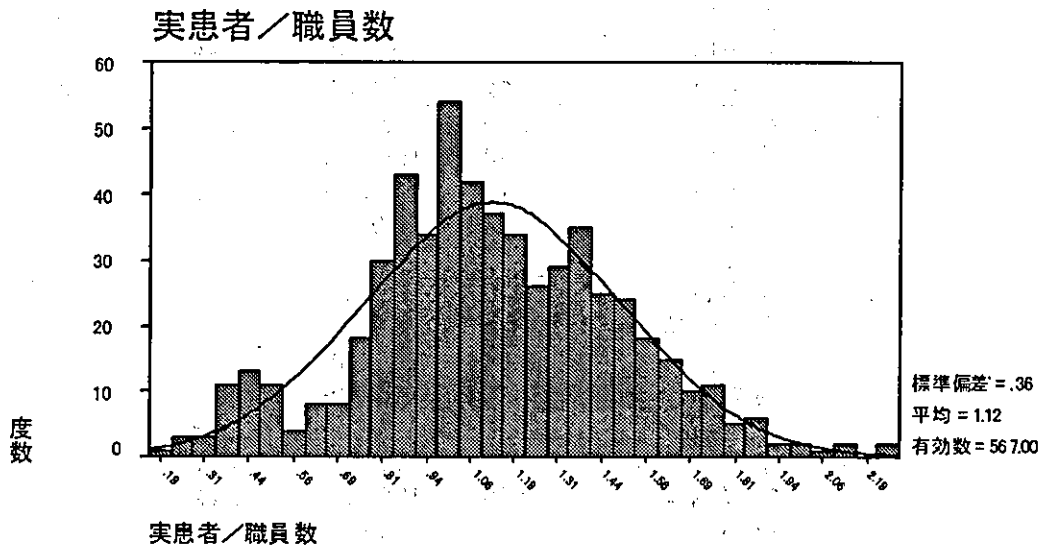


図 VI-67 病棟別の実患者／職員数の分布 (ICU 病棟 ; 27 病院)

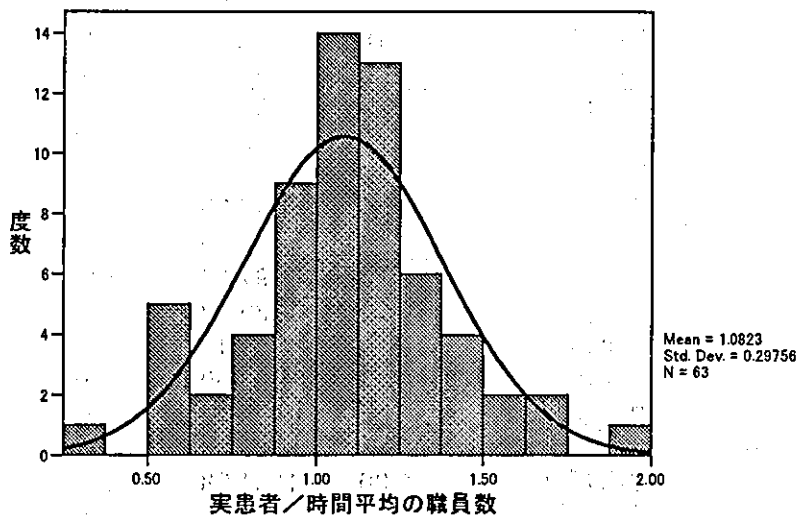


図 VI-68 病棟別の実患者／職員数の分布 (ICU 病棟 ; 3 病院)

②ハイケア病棟

21日間の期間中、ハイケア病棟の1人あたりの看護師が受け持った患者の実人数は、平均3.71で、看護配置が最も高い値は、0.49で、これは看護師2人で約1人の患者を看護していたと考えられた。

反対に、最も低い値は10.78人で、1人の看護師で10.78人の患者を看護していたことになり、最も高い配置とは、22倍の開きがあり、病棟による差がかなり大きかった。平均的には、1人の看護師は、3.7人の患者を看護していた。

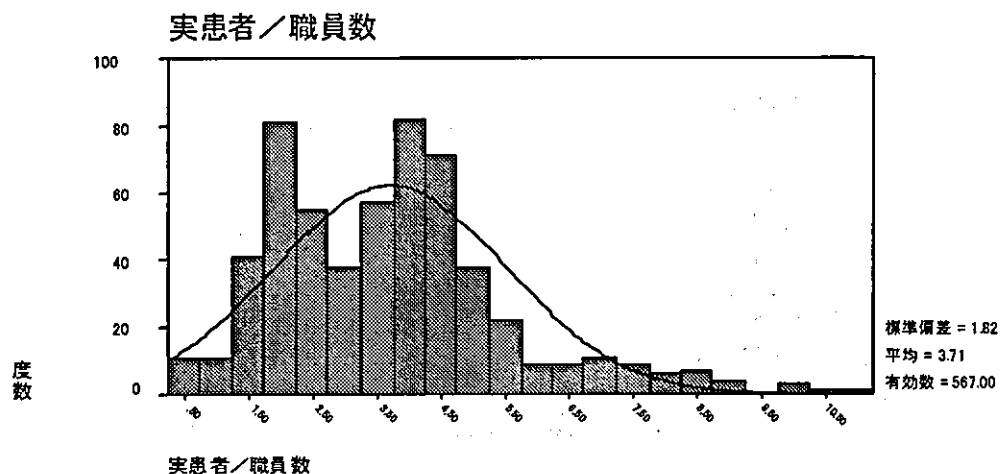


図 VI-69 病棟別の実患者/職員数の分布 (ハイケア病棟 ; 27 病院)

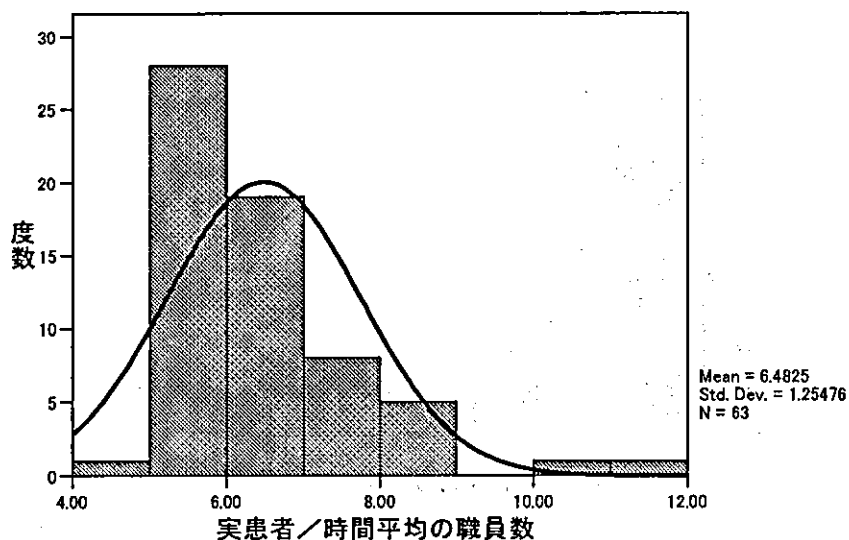


図 VI-70 病棟別の実患者/職員数の分布 (ハイケア病棟 ; 3 病院)